



日日

8th March, 2016

今日は、7時30分にクリーブランド高校に集合し、バスに乗って Stradbroke Island にある、クイーンズランド大学付属のモートンベイリサーチステーションへ向かった。

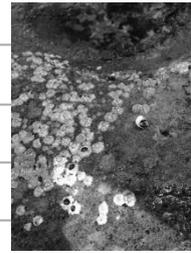
車ごとフェリーに乗る頃激しい雨が降ったがすぐにやみ、虹がいくつも出現した。何も遮るものがないからこそ見ることができるアーチ状の虹、海から伸びて海に沈む虹。また、ダブルレインボーも見ることができ、これからの研修で何かいいことがある予感があった。



まずリサーチステーションでオリエンテーションがあり、モーニングティーをいただいてから Point Lookout へ移動し、歩きながら様々な動植物を探した。テレビで放送されたリゾート地の景色で見たような海の青と白い波のコントラストが美しかった。その波間にカメが数匹浮いているのが見えた。植物はタコノキが多かった。途中、野生のカンガルーやワラビーも見かけたが、どちらもヒトを怖がる様子が全くなく、逃げようとしなかった。これは、島の人たちが危害を加えることがなく、共存しているからだと思う。正午頃、太陽の位置が北側、自分たちの影が南側にあることが分かり、南半球にいることを実感した。



昼食後、海岸を下り、岩浜の潮だまりにいる生物の観察をした。途中の砂浜は鳴き砂だったので、歩くたびに「キュッキュ」とする音を楽しんだ。干潮だったので生物の種類はそれほど多くはなかったが、フジツボやオイスター、カニが多く、ほかにイソギンチャクやヒザラガイなどもいた。



その後、野生のイルカが生息しているスポットへ行った。すると野生のコアラがユーカリの木の上で昼寝をしているのを見つけた。海釣りをしている人に聞くと、今日も数回イルカがやってきていると言う。やがて黒っぽく光る背びれが見え隠れしながら近づいてくるのがわかった。その背びれは海水浴を楽しんでいる人たちの方へ向かい、しばらく一緒に遊んでから、釣りをしている人の方にやってきた。

今日の研修の間は日差しが強く暑かったが、野生のカンガルー、ワラビー、ワライカワセミ、コアラ、イルカを見ることができて、ラッキーな一日だった。

